

みんなの夢をクリエート サンサンさわやか 文協田原

たはら文化

vol.
149
2026 7.20
(令和8年)

● 田原市文化協会ホームページ <https://taharabunka.com>



未来につなごう
田原市の文化・芸能

歌が好きです！。
幼い頃より演歌が好きで、
残り人生も演歌二筋
唱って行きたいと思っています。

文化教室 ●対象:一般(初心者歓迎!) ●期間:令和8年5月～令和9年2月

教室名	内 容	日 時	会 場	講 師	部会名・代表者
茶道(裏千家)	茶道の奥深さに触れ、癒しのひと時を共に味わいませんか。	第1日曜日 13:00～16:30	池ノ原会館	太田 量子	裏千家 茶和の会 藤城江美子
茶道(表千家)	お茶のお稽古を通し、日本の伝統文化にふれてみませんか。	第2日曜日 9:30～12:00	池ノ原会館	山田わかえ	みちの会 大場幸子
生け花	日本の伝統文化、生け花にアレンジ手法を取り入れ、花を通して四季を感じ楽しく学びましょう。	第2・第4金曜日 19:00～21:00	田原文化会館 アトリエI	杉山 礼子	松月堂古流いけ花華あしらい 齊藤愛子
俳 句	俳句は詩、ゼロから学び五七五の日記、作ってみませんか?	第2木曜日 13:00～15:00	福江市民館	天野 郁夫	渥美俳句会 山本ひろ子
俳 句	俳句は五・七・五。紙と鉛筆があればすぐ出来る。句会で楽しく講評、添削。	第2日曜日・第4木曜日 14:00～16:00	田原文化会館 207会議室	田辺 弘行	俳句教室 荒木砂智子
俳 句	俳句の作り方を学び、皆で話し合い楽しみ合える句会を開いています。	第3日曜日 13:30～15:30	田原福祉センター 相談室	大久保文夫	「小怪」俳句会 樺山伸次
短 歌	暮らしのなかにある喜怒哀楽を短歌にしていきましょう。初心者の方大歓迎!!	第1水曜日 13:30～16:00	田原文化会館 101会議室	河合 正秀	うぶすな短歌会 太田直子
百人一首	百人一首の勉強と、百人一首の競技。	第2火曜日・第4木曜日 13:00～16:00	田原文化会館 和室1・2	工藤美千代	百人一首の集い 奥千恵子
混声合唱	地域とのつながりを大切にして、唱歌、ポップス、外国曲など幅広いジャンルを歌っています。	毎週木曜日 20:00～22:00(5～9月) 19:30～21:30(10～2月)	渥美文化会館 多目的ホール	森下 静子	渥美混声合唱団 宮川潔
混声合唱	ポップスからクラシックまで幅広く練習します。年3回演奏会があります。	毎週金曜日 19:15～21:15	田原文化会館 音楽練習室	尾崎 弘明	田原混声合唱団 田中剛
さつき	未経験者大歓迎(年齢不問) 草花、樹木の好きな人、是非のぞいてください。	5/10～日曜日 8:00～12:00	田原中部市民館	大久保 博	さつき愛好会 河合昇
観賞大菊	秋には必ず咲きます大輪の菊花。渥美半島菊花大会に出品しよう。	第1日曜日 13:00～15:00	渥美文化会館 小会議室B	鬼頭 温文	渥美菊友会 吉田和子
写 真	一人で写真を楽しむでなく、写真好きな仲間との勉強は楽しいです。	第3日曜日 14:00～16:00	田原福祉センター 1Fボランティアルーム	永井 茂章	東三河写真倶楽部 山口晃司
太極拳	楊名時太極拳は呼吸法に従って心と体のバランスを取り、他の人と競り合えない健康と長寿を目指しています。	第2・第4木曜日(10月まで) 10:00～11:30	田原市総合体育館 第2武道場	河合 和子	たはら太極拳教室 中神美智子
バレエ	柔軟性を身に付け、バー、センターレッスンでバレエの基本を学びます。	第2土曜日 13:50～15:20	田原市総合体育館 多目的室	松井久美子	松井久美子バレエスタジオ 河合千恵
フラダンス	いつまでも若々しく、体力作りと共に笑顔で楽しい仲間達と地域活性化を目指しています。	第1・第2木曜日 19:00～21:00	亀山市民館	原 スミレ	アロハ・レイマナ・ポリネシアンズ 大平トシ子
箏曲	日本の伝統芸能を楽しく、わかりやすくご指導いたします。	第3土曜日 10:00～11:30	講師自宅教室	大久保純子	箏曲悠雲会 鈴木佐和子

教室の受講者は田原市在住、在勤者に限ります。各教室はすべて無料ですが、教材費については実費負担となります。
お問合せは、田原文化会館内(TEL.22-6063)田原市文化協会事務局まで。※掲載したイベントなどは、変更、または中止する場合があります。



田原市教育委員会 功労賞を受賞されました

令和八年三月二十五日、田原市役所において、田原市教育委員会功労賞を文化協会会員の齋藤憲子さんと高橋いずみさんが受賞されました。
齋藤さんは、昭和五十六年から文化協会の会員となり、詩舞道の資格を取得し、現在も後継者育成など積極的に活躍し文化振興に貢献していることが認められました。
高橋いずみさんは、平成十七年に田原市文化協会の会員となり、その後、部会代表者、文芸部部長を務め、初心者向けの文化教室を開設し、俳句を通じて文化発展に尽力してきました。平成三十年三月から毎月、文化協会HPへ定例俳句の二句を投稿し、俳句の魅力を伝えています。
(永井茂章)

田原市文化協会 令和八年度総会

新年度予算案、会費の見直しなど六議案承認

令和八年度総会は、四月十二日(日)、田原文化会館多目的ホールで開催され、全議案原案どおり承認されました。

開会挨拶で山本会長は「少子高齢化、デジタル化、AI化が進み、時代の変化は著しい。人生百年、人間社会の基本となる芸術文化、田原文化の振興に寄与してほしい。」と述べられました。

議案は、令和七年度事業報告、決算報告、新年度事業案、予算案、役員の改選及び規約改正案の六議案で、八年度予算総額は四百九万二千円で昨年度より減少し、周年事業基金の積立をやめました。

役員改選は、山本会長、太田副会長、花井副会長、戸田監事は再選され、新たに伊藤長代副会長と齋藤憲子監事が選ばれました。

規約改正は二か年にわたり検討してきた会費



山本会長



鈴木副市長

見直しの内容で、令和九年度から施行されます。普通会員の会費は千円となり、高校生以下は五百円に減免され、新たに賛助団体会員が設けられました。
続いて、協会合併後初の芸術文化功労賞及び芸術文化奨励賞の表彰(詳細は6頁)が行われ、更に長年協会役員としてご尽力いただいた本多智映子前副会長に会長から感謝状が贈呈されました。
来賓の鈴木副市長、岡本議会議長、伊藤教育長からはご祝辞を賜りました。
続いて、令和七年度田原市教育委員会表彰受賞の齋藤憲子さん(渥美昭武館)と高橋いずみさん(俳句教室)の紹介があり、盛会のうちに閉会いたしました。
(渡邊澄子)



年 間 行 事 予 定	
4月12日(日)	総会、部会代表者会、各部打合せ
4月22日(水)	県文連東三河部連絡協議会 会主幹 田原市
5月8日(金)	文化教室開講式
5月22日(金)～24日(日)	春の文協まつり・市民茶会
6月14日(日)	一日研修視察
7月12日(日)	県文連芸能大会(豊橋)
7月20日(月)	たはら文化149号発行
8月下旬	部会代表者会
10月30日(金)～11月1日(日)	田原市文化祭(田原会場)
10月31日(土)～11月1日(日)	田原市文化祭(渥美会場)
1月20日(水)	たはら文化150号発行
2月 未定	文化教室開講式
2月 中旬	部会代表者会

適宜開催:執行役員会・理事会・たはら文化編集委員会・各部会発表会(共催・後援事業)

新役員紹介

▼役員	
山本 達夫(会長)	
太田 孝雄(副会長)	
花井 志げ子(副会長)	
伊藤 長代(副会長)	
藤井 正剛(会計)	
戸田 巻良(監事)	
齋藤 憲子(監事)	
渡邊 澄子(事務局長)	
永井 茂章(編集委員長)	
▼理事	【○部長 ○副部長】
芸 能	○田中 剛
	○渡会 健美
展 覧	○宮川 潔
	○白井 純子
	○古田知恵子
	○大場 一男
	○大島 邦男
	○富田 順子
文 芸	○立岩 静子
	○荒木砂智子
	○太田 直子
	○彦坂 靖子
	○山本ひろ子
茶 道	○渡邊 澄子
	○太田 量子
	○大谷 充子
華 道	○天野 知代
	○杉山 礼子
	○河合さき子
▼編集委員	
	永井 茂章(委員長)
	太田 健(副委員長)
	太田 直子(副委員長)

※理事は編集委員も兼務

春の文協まつり 芸能

令和八年五月二十四日、新緑が眩しく爽やかな日に田原文化ホールにて春の文協まつり、芸能発表会が開催されました。

今年度田原市文化協会、芸術文化奨励賞を受賞されたクラシックバレエの廣野さんのソロから演目のスタートです。バレエダンサーの美しい姿勢と豊かな表現力にうっとり、心を奪われました。

和服姿で力強くしなやかな、剣詩舞の皆さんの舞、扇子の動き、向き角度に至るまでどれも見事に揃っています。剣舞では力強い剣裁きに床の音。そして扇子がパツと開く音も響きわたり、日本文化の美しさと力強さを五感で堪能した豊かな時間でした。

カラオケでは七団体の方々が参加され、素敵なスーツやドレスを身にまとい熱唱されていました。昭和や平成の良き名曲の数々を聴かせていただき、歌

の深い世界観や情景を歌声や表情で表現されていて歌の心が伝わります。皆さんの歌に対する愛情を強く感じる事が出来ました。

舞踊では白と赤の手拭いと共に踊り子が舞い、活気あふれる祭りの様子と恋模様を表現されていました。舞台袖では仲間の舞台の様子をにこやかに、熱く見守る様子も印象的でチームの団結力や思いやりを感じました。

芸能部の皆さんの芸事に対する日々の努力の積み重ねや、お稽古、練習の成果を感じた二日となりました。

それぞれの好きなことで舞台上に立つという幸せな事をいつも支えて下さる音響さんや照明さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

(古田知恵子)



春の文協まつり最終日は、まさに五月晴れとまった。

総合体育館ロビーには、田原さつき愛好会の力作が競い合うように並び、今が盛りと咲き誇っている。

またギャラリーでは、別所千代子社中、みちの会、松月堂古流華あしらい、天野知代社中、大羽英子社中、松月堂古流あつみの皆様の華道展が開催され、百合や薔薇など、それぞれの趣を活かし生けられている。

文化会館アトリエでは、陶芸クラブ、陶芸教室、新大アラコ窯会、渥美窯陶友会による土色の鮮やかな甕や花瓶から可愛らしい人形まで個性豊かな作品が並ぶ。

多目的ホールに入ると左右の壁の絵画に目が止まる。田原絵画クラブ、絵画あつみの繊細に大胆に

描き出された浮世絵や風景、人物について見入ってしまう。

正面には菁華会、きかく会の書道作品の数々が整然と掛けられ、その墨の世界に誘われる。

さらに、渥美、小径、俳句教室の短冊や色紙も展示され、添えられた写真なども相まって、初夏の渥美半島を伝えてくれ、うぶな短歌会の作品が詩情を漂わせる。

右手奥には、手作り大好きクラブのバックや壁掛け。川口博敬さんの緻密な組子細工も飾られている。

音楽練習室には、東三河写真倶楽部、渥美写真愛好会の渥美半島の美しい自然や風物などの瞬間を切り取った写真が並ぶ。

(荒木砂智子)

春の文協まつり 展示



令和八年度

文化芸術功労賞

文化芸術奨励賞



令和八年度田原市文化協会芸術文化功労賞及び芸術文化奨励賞の表彰式が合併後初めて総会の席上で行われ、会長から賞状とガラス盾等の記念品が授与されました。

芸術文化功労賞受賞者は、大久保博さん(田原さつき愛好会)と川口博敬さん(工芸)の二人。同奨励賞受賞者は、廣野渉羽さん(松井久美子バレエスタジオ)。

芸術文化功労賞は、田原市の文化芸術の振興及び発展に寄与し、その功績が著しく、当協会に十年以上在籍する会員を表彰するものです。

大久保さんは、文化協会創立時からつき展や同講習会などを開催し、月文化の伸展に尽力され、その作品は内閣総理大臣賞など受賞されています。

川口さんは、緻密で独創的な組子細工の第一人者として伝統技術の継承、後進の指導など工芸文化の伸展に尽力され、昨年度黄綬表彰を受賞されました。

芸術文化奨励賞は、前年度の活動において特に文化芸術活動の振興及び発展に寄与し、二層の活躍が期待される個人または団体の会員を表彰するものです。

廣野さんは、小学四年生からバレエを始め、昨年度P.I.B.C愛知2025シニアCの部において優秀な成績を収め、今後の活躍が期待されるものです。

おめでとうございます。今後の更なるご活躍をお祈りいたします。

(渡邊澄子)

春の文協まつり 市民茶会

春の市民茶会が、五月二十四日(日)田原文化会館ラウンジで開催され、席主を裏千家渡邊宗澄社中が担当いたしました。

昨年度から春の茶会は文協まつり最終日に文化会館で開催することになり、会場には多くのお客様が二層の茶を楽しまれ、盛会のうちに終了いたしました。

点前席は、御園欄に富士釜と五節句水指、茶杓は今日の佳き日にちなみ銘は「好日」。

赤い野点傘の歌花筒には野にあるようにと利休草、下野、姫ヒオウギなどの小花達を添えました。季節の主菓子は銘をアヤメの別名「恰好」と名付け、短冊「期(会)」の心で取り組みました。

数茶碗は弥七田織部や三島花茶碗に加え、ご協力いただいた地元渥美窯のお茶碗でお茶をお出しすることができ、うれしく思いました。また、茶会のために稽古に励んだ社中の成果も笑顔の中から垣間見ることができ、次回への励みとなりました。

最後に、当日券が無くなり、席に入らなかった皆様には心からお詫び申し上げます。

(渡邊澄子)



一日研修視察

豊臣兄弟大河ドラマ館と金華山ロープウェイ

金華山は越戸の大山と同じ標高三三八メートル。ロープウェイを降りてから八十メートル登る。

「岐阜城へは急な石段や鬱蒼とした山道、手すり頼りに老いも若きも息絶え絶え、そこで二句。『青嵐巨石眼下にロープウェイ』(さとり)」

「深緑や足取り重く稲場山(ひろ子)」

途中で赤やんに逢い元気をもらおう。青葉閣から現る岐阜城に感動し二句詠む。

「雲を抱き涼風連れて来たる人」(緑陰を出て目映き天守閣)。

さらに眼下に岐阜の街並みと長良川が広がり「日盛りや白き光の長良川」と俳句をうたう。

快適なバス旅は、未だ明るいうちに帰着。あつという間の一日でした。「袖すり合うも多生の縁」お話しをする機会もなかった方々と旧知のように親しくさせていただきました。誰も忙しいいい年です。だからこそ、来年もぜひ、皆様ご参加ください。きつといい出合いがありますよ。

(花井志げ子)



書を楽しむ

立岩 静子

私が書を始めたのは友人に誘われて前田先生の教室に通った事がきっかけです。その後休んだ期間もありますが、あと数年で五十年程になります。

十数年前に先生が亡くなった後は、書道を続けたグループで私の自宅で活動しております。ご子息のご支援に感謝しております。

週に二度、午後八時から教室に集まり月例の作品に取り組んでおります。書道の魅力は納得がいく作品が出来るまで集中して書く事です。月例や展示会に出展する作品の提出に追われてしまうこともあります。苦勞して納得がいく作品が出来上がった時には、とても達成感がありますし、作品として形に残すことができ、それをふりかえってみる楽しさもあります。

また仲間と一緒に話をしたり、書を習いにきてくれる子ども達と交流することも楽しい時間です。

一緒に書を楽しむことで、書くことの楽しさを伝えることが出来たら嬉しいです。

これからも健康に気をつけながら、仲間達と一緒に書を楽しんでいきたいと思っています。

俳句と短歌で巡る、田原市内の名所 12

五月某日、爽やかな新緑がまぶしい滝頭公園で吟行をした。ここは衣笠山と滝頭不動尊を祀る滝頭山の麓に広がる灌漑用池を兼ねた遊園地として、昭和四十七年に開園された。

入口すぐに多目的広場、野球場、テニスコート、子供の親水広場やアドベンチャー広場、さらに滝頭上池と下池を囲むウォーキングコースやキャンプ場があり、不動尊の社殿の脇の遊歩道からは富士の頂を望むこともできる。老若男女が楽しめる公園だ。園内の逍遥には清掃の行き届いたトイレが六カ所もあるのがうれしい。

季節ごとにコブシにサザンカ、数千本の桜、ツツジにササユリが咲き、アジサイ、アザミにツワブキ、紅葉が彩なす光景ががやがやしい。早春のウグイス、年中聞こえる数え切れない野鳥の声、池に来る鴨の群、運がよければカワセミやカイツブリにも会える。

(文夫)

滝頭公園

滝頭公園テニスコート上の道路に面して、うぶすなの先人の文学碑が据えられています。

文協の再興は吾のゆめなりき牛歩なれども拾年を経ぬ

森下 勲の詠めるを白寿記念に

時子かく

おどかに千鴻は蒼く昏れゆけり太古の命今に残して

うぶすな短歌吟行より

池の面をすい直に飛ぶかわせみや師の碑の並ぶ公園歩む

水色の蝶もつれ舞う滝頭風を馳走に山頂の登

五分咲きの桜の道をふり返り胸の二つを置きて帰りの

田中 きく

高橋 邦子

安井 弘子

花井 けい

(太田直子)



渥美窯陶友会

渥美窯陶友会代表 清田 明



みなさん、誰もが保育園や小学校時代には、粘土遊びを経験したことがあります。その粘土を焼いたことがありますか。

ここ渥美半島での生活は、意外にも焼き物に関する「身近な発見、気づき」で溢れています。子供の頃、近くの畑に行くと土器の破片をすぐに拾うことができました。また海岸の松林で製塩土器を見つけ、不思議な空想に耽った事を思い出します。山裾の窯跡付近に、大量の陶器の破片が落ちていたり、古い長屋の物置から、大甕が出てきたりと、話に事欠きません。

この地では、昔から土器が焼かれ、特に約八百年前の平安時代の終わりから鎌倉時代の二百年間には、山茶碗のような大量生産品から、銘入りの一点物のブランド品まで作られました。その頂点にあるのが、二〇三三年に田原市博物館に里帰りした、上野の東京国立博物館に展示されている「慶應義塾所蔵の国宝「秋草文壺」」です。

渥美窯陶友会は一九七七年夏から活動を開始し、今年で半世紀になります。伊良湖の東大寺瓦窯跡発掘が縁で加藤唐九郎をはじめとする日本を代表する陶芸家たちとの行き来が始まり、やがて常滑の江崎一生先生の指導で渥美の中山に穴窯を築くに至りました。江崎先生は当初の数年間、毎月泊まり込みで来訪し、作陶指導をされました。

初期の会員たち三十数名は、後に「幻の人間国宝」と呼ばれる江崎先生から直接指導を受けるという最高の幸せな陶芸入門をすることになりました。

その後、豊橋、御津の会員が中心になつて活動を牽引し、およそ四、五年前まで続いたことで、陶友会としての二つの時代の区切りを迎えます。そして現在二十名の会員が新生「渥美窯陶友会」として活発に活動しています。

私たちのこの半世紀活動指針は、九八六年の第一回東京新宿・紀伊國屋展示会のパンフレットに掲げた理念に集約されています。それは「渥美古窯の「発見、継承、発展」を目標に、渥美の松、土、釉薬を使い、コンクール向けではない、商売のためではない、小さな趣味の世界だけに埋没することのない、プロも恐れぬ「素人集団の陶芸」を目指す」ということです。

現況について、この数年、年二回の穴窯、複数回のガス窯、電気窯で焼成をしています。講習会、展示会も度々開き、さらにYouTube「あつみがまちゃんネル」も開設し、普及に努めています。また「めつくんハウス」、あつみの市レイの「あつみブリーパ」にて販売もしています。

直近では六月三十日より豊橋の「ギャラリー茶房・田園」で春窯の展示即売会を開きました。秋窯の展示会は、秋の文化祭渥美会場を予定しています。皆様のご来場をお待ちしています。



写真提供 清田明也



写真提供 清田明也

第23回 田原市音楽祭

六月十四日(日)田原市文化会館ホールで田原市楽友協会主管の第二十三回田原市音楽祭が開かれました。田原市楽友協会(田中剛会長)は、クラシック音楽を中心に、田原市民に音楽で元氣になつてもらうために設立されました。楽友協会は四つの音楽団体で構成され、個人の参加も推奨されています。四団体とは、ジュニア合唱教室、渥美混声合唱団、田原混声合唱団、田原市吹奏楽団です。

本日の田原市音楽祭は、この四つの音楽団体が年一回、田原市文化会館で開催される演奏会です。今日はこの四団体に加えて客演としてお二人の演奏家を迎えました。田原市出身のヴァイオリニスト斎藤麻生さんと豊橋市出身のピアニスト天野穂乃果さんです。

さて、本日の音楽祭は第二ステージにジュニア合唱教室が「ゆかいに歩けば」始め五曲を歌いました。第二ステージは田原混声合唱団がアカペラで「アン・ニ・ローリー」始め四曲を歌いました。中島みゆき作曲の二曲は好評でした。第三ステージは渥美混声合唱団がビートルズの「All My Loving」を始め五曲を歌いました。井上陽水作曲の三曲は好評でした。第四ステージは斎藤さんと大野さんのヴァイオリンとピアノのコラボでした。有名な「トロイメライ」が好評でした。最後の第五ステージで田原市吹奏楽団がアルセナールを始め三曲を演奏しました。

(田中剛)



踊りが好き!

羽場 敏子

たまたま訪れた友人宅で目にした綺麗な着物や、きらびやかなスパンコールの衣装に釘付けになった事が昨日のことのよう。

それは向日葵会の第二回発表会の正にその舞台衣装だったのです。そして初舞台に感動しての入会。

踊りに魅せられて二十年。振り返れば踊りと出会ってからの年数。いつも傍らには仲間が居て、みんなで稽古に励み、舞台上に臨む、そうやって二十年が過ぎました。出会えた事、仲間の存在に感謝が湧きます。何をやっても三日坊主の私がこんなに継続出来ている事が信じられません。そもそも上がり症の私が舞台上で踊るなんて驚きです。

でも、非日常の空間で全く別の誰かになりすまし、五分程の曲の中、もう一人の私が踊ります。粋な芸者さん、恋する乙女、はたまた美しい海の男。舞台の上では誰にでもなれるのです。主婦の私が、この時ばかりは別の私になる素敵な空間。だから踊りが好き!

今もこれからもずっと。



華

を

楽

し

む

!

華あしらい

杉山 礼子

幼い頃、母の実家に行くと、いつも花が生けてありました。「この花、なんという花?」

「これはなあ。」と教えてくれました。

いろいろな花達が楽しそうに、嬉しそうに、生けられていました。祖父は、生け花の先生で長机が、三台置いてあり、行く度に生花が生けてあった事を思い出します。祖父の楽しみは、いろいろな所の展覧会に出品して、楽しんでいたようです。私の花好きは、ここから始まりました。

母に連れられお稽古に通い、田原に来てからは、祖父のお弟子さんの所に通い、豊橋の先生の所に通い、浜松のフラワーアレンジメント教室に通い、ブーケも出来るようになりました。

「先生の手は、魔法の手だね。」と言われ、天にも登る思いでワクワクしています。「玄関に花があると心が暖かくなるよね。」

「家の中が明るくなるよね。」と、おしゃべりしている声が聞こえてくると、もつともつと勉強しなくては、と思うこの頃です。



天野知代社中

天野 知代



生け花と出会って早いもので六十年にもなりました。

最初は姉と一緒に中学生の頃「全業道古流」に入門し通い始めました。自分の意思で始めたわけでもないのに、時々お稽古した花を飾ることもなく枯らし、母に叱られた事が思い出されます。

そんな私がこれ迄続けて来られたのも年を重ね花への思いがお稽古を通じ変化して来たからだだと思います。それと同時に指導を受けたり指導する立場になり幅広い年齢層と出会い、関わるようになり影響を受けたからだと思います。

特に保育園児や小学生に指導した事で大人とは違った発想がありとてもよい刺激を受け参考になりました。

子どもの頃は季節のうつろいを祖母の作ってくれた草餅桜餅、柏餅で感じ取り、まさに花より団子でした。今は折々の菓子と同様、室内に色々な季節の花を飾り、眺めるたのしみに移って来ました。

「ホタルぶくろが咲いて来たからホタルが舞い始めるかな」「卯の花香ってきたから初夏の始まりかな」等と思うようになりました。

季節の節目を生け花で感じる文化をみなさんに伝えられたらと思います。

プアナナの頑張る子供達

中村 実織

私は二年生のころからフラダンスを習っています。「フラダンスの体けん会があるから行ってみよう」とお母さんに言われて行ったのがきっかけです。

体けん会で先生がお手本を踊ってくれたのを見て、すごくきれいでかっこよくて、わたしも先生みたいにおどりたいなと思ってフラダンスをはじめました。

はじめての発表会を見る人がたくさんでびっくりしたし、きんちようしたけどみんなでおそろいのかわいいしやうをきて楽しくおどることができました。

練習は友だちといっしょなので楽しいけど、むずかしいふりつけがあると大変な時もあります。だけどいつか先生やお姉さんたちのようにすてきなフラダンスがおどれるように練習をもっとがんばっていききたいです。



川口 燕

フラダンスを始めたきっかけは、学校からのチラシでした。私はまるで関心がなかったのですが、お母さんが「やりたい！」と言いだし、私はお母さんの付き添いとして一緒に体験にいききました。

始める前はとても難しいと思っていたのですが、運動の苦手な私でも出来て、ステップや手の動きも意味があつて覚えやすく、先生もとても優しく毎回おしゃべりしながらワイワイ楽しくやっています。

初めてのフラのステージは緊張したけれど、あつけないほど早く終わってしまいました。

ボランティアとして介護施設で踊ったときには、私達の真似をして手を動かしてくれるおじいちゃん、おばあちゃんがいてかわいいと思いました。

これからも上手になれるよう頑張りたいと思います。

山田 要

私は、小学二年生の冬からフラダンスを始めました。そこでやさしい先生と、いっしょにおどるお友達に出会えたので、今も楽しく続けます。

フラダンスをしていて大変なことは、発表会で、まちがえずにおどることです。たくさんのおきやくさまの前でおどるのは、とてもきんちようします。先生が、「まちがえても笑顔で自信をもっておどることがだいじ」だと教えてくれたので、きをつけています。

楽しいことは、フラダンスの音楽に合わせて、みんなといっしょにおどることです。

今までたくさん練習をしてきたのでおどれる曲もふえてきたこともうれしいです。

次の発表会にむけて、これからも練習をがんばりたいです。



発行所／田原市文化協会事務局
〒441-3421 田原市田原町沙見5番地
(田原文化会館内) TEL(0531)22-6063
発行人／山本達夫 印刷所／共和印刷所

田原市文化協会
ホームページ

<https://taharabunka.com>

田原市文化協会

検索



文協活動メモ

●令和7年度

- 1/7 うぶすな短歌会 歌集発行
- 1/18 恵勢会 初舞会
- 1/31 渥美昭武館 初春剣扇のつどい
- 1/20 「たはら文化」148号発行
- 2/13 文化教室閉講式
- 3/29 道端協同組合
ストリートダンスイベント

●令和8年度

- 4/12 文化協会総会
- 4/19 田原カラオケささゆり会 歌の祭典
- 4/22 県文連東三河部連絡協議会(田原市主管)
文化教室開講式
- 5/8 春の文協まつり
- 5/22~24 陶芸クラブ 作品展示
- 5/24~6/9 一日研修視察(豊臣ミュージアム他)
- 6/14